

災害等情報（詳報）

鉱種：石灰石	鉱山の所在地：岡山県					
災害等の種類：坑外・ 運搬装置のため (コンベアのため)	発生日時： 平成29年2月4日(土) 20時30分頃	罹災者数	死	重	軽	計
			-	1	-	1
罹災者 年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、担当職経験年数： 24才、製造員、直轄、勤続年数及び担当職経験年数：3年4ヶ月						
罹災程度：左手前腕骨開放骨折（休業：67日）						
<p>【概要】</p> <p>罹災者は、3方（16時20分～24時35分）に勤務し、工程内製品検査及び機器設備の点検確認を行う外回り作業を担当した。</p> <p>罹災者は、外回り中に乾燥工場タンク下部に設置している排出フィーダーから原料が吐出し、タンカル原料搬送系ベルトコンベア（以下、「BC」という）が、過負荷で停止しているのを確認した。</p> <p>18時40分、罹災者は中央操作室と連絡を取った後、一人でショベルローダーのヘッドライト及びヘルメット装着のキャップライトを照明として使用し、BCのヘッド部とテール部に溜まっている原料の掻き出し作業を行った。</p> <p>20時15分、罹災者は掻き出し作業が終了した事と「これからBCの蛇行確認を行う」旨を中央操作室に連絡した。</p> <p>その後、罹災者はBCの蛇行確認のため、タンカル原料タンク横にある単独運転スイッチを操作し、ベルトコンベアを起動させたのち、BCテール部へ移動した際、BCテール部の雨水流入防止のために置かれていた土のうにつまづき転倒した。</p> <p>転倒した際に、ショベルローダーのバケットに接触し、とっさに出した左手をBCテール部上部の保護カバーについたが、止まらず滑り、開口部よりテール部に左手が入り、巻き込まれ罹災した。</p>						
<p>【原因】</p> <p>①原料が粒度及び付着水分等の物性影響により、タンク排出フィーダーから吐出し、BCが過負荷となった。</p> <p>②土のうにつまづいた。</p> <p>③作業環境が暗かった。</p> <p>④このベルトコンベアは、上部、テール部には保護カバーを設置していたが、サイドの小さい開口部は見落とされ、保護カバーを設置していなかった。</p>						
<p>【対策】</p> <p>①原料が吐出した時、出来る限りBCが過負荷にならないよう工学的対策を行った。</p> <p>・吐出検知器を設置した。（ある一定以上に原料が排出されれば、検知器が検知して、排出フィーダーとタンカル原料搬送エプロベータを緊急停止させる。その後、原料を少しずつベルトコンベアに吐き出すため、タンカル原料搬送エプロベータ</p>						

を間欠運転する。)

②土のうを撤去した。

土のうを置く原因となったBCテール部の浸水対策として、BCテール部を嵩上げし、浸水しないように設備改良を行った。

③ポーダブル型LED作業灯を購入した。

④BC開口部に保護カバーを設置した。

【参考情報等】

○作業箇所は、整理・整頓をしましょう。

○鉱山保安法令における参考規定は以下のとおりです。

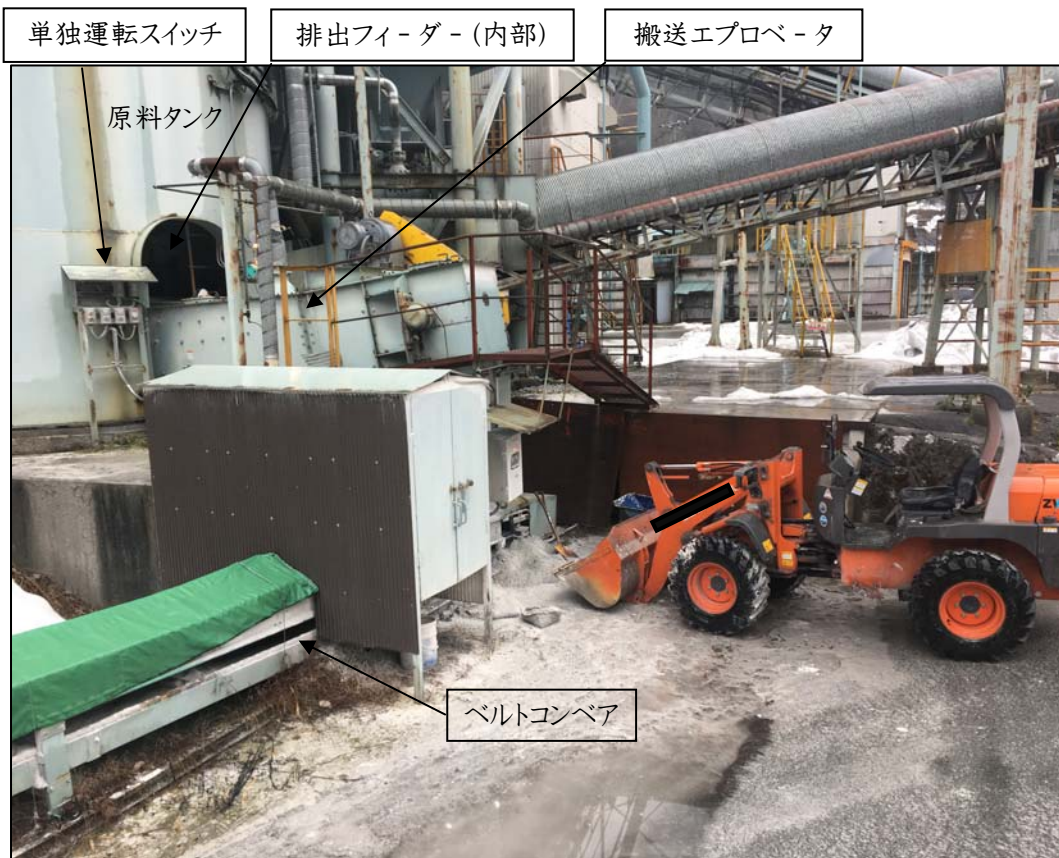
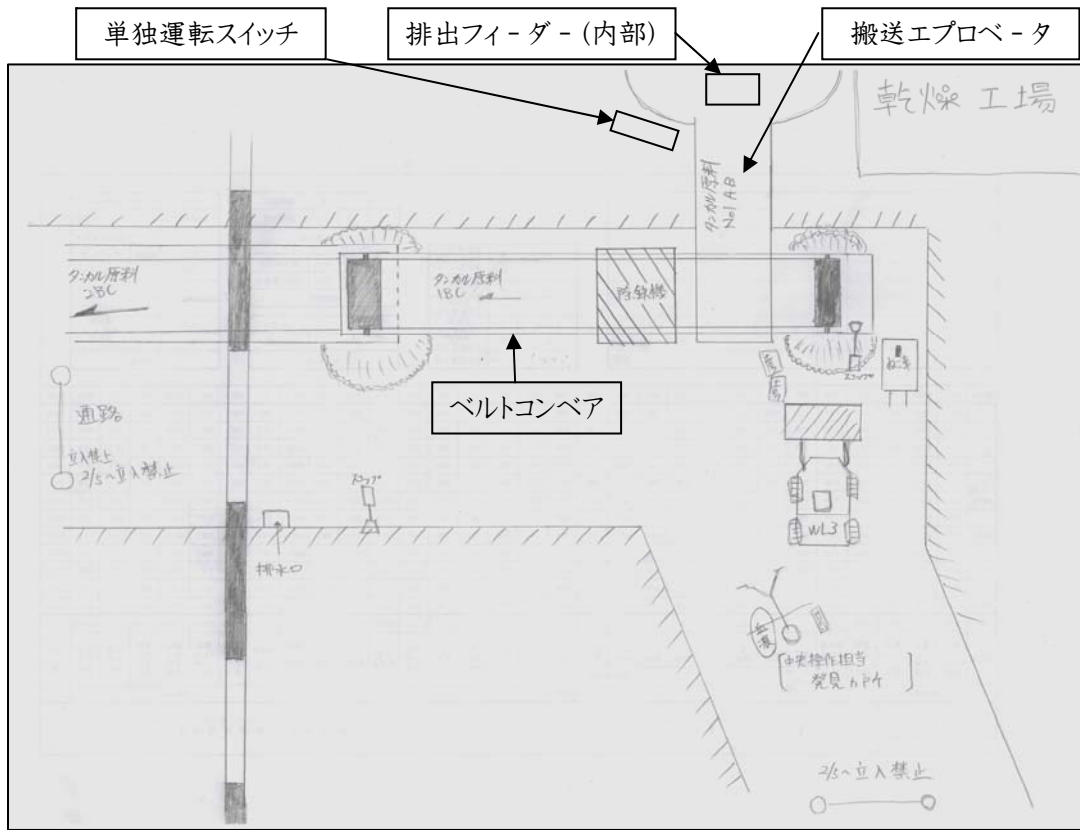
<鉱山保安法令>

・共通の技術基準(鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第3条)

【お問い合わせ先】

中国四国産業保安監督部 鉱山保安課 藤田、久保

電話番号 082-224-5755





罹災状況(再現)



罹災状況(再現)